

# 地域支援センター「しせい」

第9号 地域支援センター通信【平成31年3月15日発行】



相馬支援学校では、卒業後に働く子供たちのために、保護者対象の説明会等、様々な取り組みをしています。今回は、「卒後の地域生活支援連携会議」と「地区別説明会・就労アセスメント説明会」について紹介したいと思います。

## 「卒後の地域生活支援連携会議」を終えて

毎年9月と2月に行われるこの会議は、本校の教職員と相双障害者就業・生活支援センター(以下支援センター)、相談支援事業所、市の福祉課担当職員が集まり、生徒についての情報交換を行い、卒業後の生活支援や就労支援が円滑に行われることを目的として行われています。第1回目の会議では、個別のフェイスシートをもとに、各生徒の得意なこと、支援が必要なことや進路の方向性について話し合い、第2回目の会議では進路先の報告や相談支援事業所での手続きの進み具合について確認を行いました。

生徒たちには、進路決定までにはたくさんの方がかわかり、支えてくださっていること、そして、卒業後も困った時にはひとりで悩まず、学校や支援センター、相談支援事業所に必ず相談することを伝えています。卒業後も支援が途切れることがないように、支援センターや相談支援事業所と連携を図りながら生徒一人一人が地域の中で自分らしく生活していけるようにサポートしています。



## 「地区別説明会・就労アセスメント説明会」について

「相馬地方障害支援区分に関する地区別説明会・就労継続支援B型事業所利用にかかる就労アセスメント説明会」は、高等部2年生保護者を対象に、卒業後に福祉サービスを利用するための手続き、企業就労する生徒が受けられる支援、就労継続支援B型事業所を利用する際に必要な就労アセスメントについてお知らせするため、1月31日に本校で行われました。

地区別説明会では、市役所福祉担当の方から、18歳を迎えたら市役所で行う手続きについてお話をいただき、支援センターの方からは就労面や生活面での支援の内容や利用の仕方などの説明がありました。

就労アセスメントとは、就労面、生活面、コミュニケーション面、精神面の各項目について評価し、生徒の働く力を見るための目安となるものです。得意なこと、支援の必要なことなどが明確になり、卒業後の支援を受ける際の資料となります。これまでは、支援センターの方が現場実習中に実習先を訪問して行っていましたが、次年度からは、4月に開所する就労移行支援事業所アルファワークスで実習を行い、アセスメントを行うこととなります。これまでのやり方とは違ってくるところもありますので保護者の皆様にご協力をいただきながら進めていきたいと思っています。





## 平成30年度 地域支援センター「しせい」 では、こんな活動を行いました！



今年度から

**教育支援アドバイザー**

が配属されました。

『切れ目のない支援』の充実に向けて、  
「親子学級」の活動と一緒に取り組み  
ました。

**早期教育相談教室**

「親子学級「すくすく」の開催  
3歳と4歳児クラスの「ひよこ学級」と  
5歳と6歳児クラスの「わんわん学級」に  
分かれて活動しました。  
年間17回、10組の親子が参加しまし  
た。

**研修支援**

(講師や助言者として参加しました)

その1:教育委員会

**テーマ:** 特別な配慮を必要とする子どもの気づ  
きとその支援について

その2:高等学校

**テーマ:** 発達障がいのある生徒に対する具体  
的な支援の検討と障がい特性の理解について

※その他、地域で開催した研修会に参加し、助  
言者として活動しました。



**相談支援**

**出かける支援**(依頼先に出向いての相談)

訪問先:幼稚園、保育園、こども園、小学校、中学校、高等学校など

相談内容:「子供たちにとってより良い支援の方法が知りたい」、「特別支援教育の視点を取り  
入れた実践例が知りたい」、「全職員で共通理解を図って子供の支援をしたい」、「地域の資源  
について知りたい」、「関係機関との連携のあり方を知りたい」など。

**来校・電話相談**

就学に向けての教育相談や特別支援教育に関する情報提供などを行いました。

来校相談件数(延べ件数):23件

親子学級:(延べ件数):94件

地域支援センター「しせい」は、今後も特別支援教育に  
関する情報の提供や相談に応じます。

まずは、お気軽にお電話ください。



0244-35-5506

